

令和 年 月 日 ()			
対象学生	多国籍	時間：30分	担当者：JJPT
学習項目 ・N3文法「～ば～ほど」			
学習目標〔評価方法〕 ・ 出来事Aの進展に相関して出来事Bも進展する（AばAほどB）の文法の理解と運用を図る。 〔運用練習・練習問題・観察法〕			
時間	項目	教師（T）の活動・学習者（S）の活動、＜教師の指示・活動＞	留意点・支援
10分	導入	<p>T：はじめます。 T：みなさん、見てください。 （数学の問題を提示する。 例 $\sqrt{7293421}$） T：この問題は、分かりますか。 S：分かりません。 T：難しいですね。 T：（下記の文を黒板に貼り出す。） T：</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>この問題は難しい問題で、 考える。分からない。 もっと考える。もっと分からない。 もっともっと考える。もっともっと分からない。</p> </div> <p>T：（上記の文を読み上げる。） T：もっといい言い方があるんですよ。 T：（下記の文を上記の文の右横に書く。）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>考えれば考えるほど、分からない。</p> </div> <p>T：（文を対比して読み上げる。） 何回も考えます。でも、分かりません。これは、「考えれば考えるほど、分からない。」と同じです。 T：考える。考える。考える。（片手を少しずつ上げながらレベルを上げる動作をする。）分からない。分からない。分からない。（同様に片手を少しずつ上げながらレベルを上げる動作をする。） T：「考えれば考えるほど、分からない。」です。 T：はい。みなさん。読みます。 T：考えれば考えるほど・・・ S：考えれば考えるほど、分からない。 T：「考えれば」は何形ですか？ S：条件形（ば形）です。（T：「V・条件」を板書する。） T：「考える」は何形ですか？ S：辞書形です。（T：「V・辞書」板書する。）</p>	<p>即答できない難解な数学の問題を提示する。</p> <p>「～ば～ほど」の文法と同じ意味になる易しい文を提示する。 前件のレベルが大きくなると後件のレベルも比例して大きくなることを視覚的に捉えさせる。</p> <p>文を対比することで「～ば～ほど」の文法を理解させる。</p> <p>接続を確認する。</p>
15分	運用練習	<p>T：練習します。聞いてください。 T：夏になると暑いです。（2回繰り返す。） T：「～ば～ほど」を使って言いましょう。動詞は「なります」 S：夏になればなるほど暑いです。</p>	<p>「～ば～ほど」の練習で定着を図る。</p> <p>指名する。</p>

	<p>T : いいですね。みなさん、もう一度言いましょう。 T : 夏になれば・・・ S : 夏になればなるほど暑いです。 T : もう一つ。太陽が沈むと暗くなります。(2回繰り返す。) T : 「～ば～ほど」を使って言いましょう。動詞は「沈みます」 S : 太陽が沈めば沈むほど暗くなります。 T : いいですね。みなさん、もう一度言いましょう。 T : 太陽が沈めば・・・ S : 太陽が沈めば沈むほど暗くなります。</p> <p>T : 次は、い形容詞です。 T : (下記のセンテンスカードを黒板に貼る。) T : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 外国語^{がくしゅう}学^{はじ}習^{はじ}を始めるのは、早^{はや}ければ早^{はや}いほどいいです。 </div></p> <p>T : 「早ければ早いほどいいです。」を分かりやすい文で書きます。 (導入に使った動詞の場合の「考える。分からない。もっと考える。・・・」を指し示して質問する。) どうなりますか。</p> <p>S : 「早い。いいです。もっと早い。もっといいです。もっともっと早い。もっともっといいです。」 T : そうですね。(下記の文を板書して読み上げて意味を再確認させる。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> (10才) 早い。いいです。 (8 才) もっと早い。もっといいです。 (5 才) もっともっと早い。もっともっといいです。 </div> <p>T : 「早ければ」は何形ですか。 S : 条件形(ば形)です。 T : はい、そうです。(「早ければ」の下に「いA・条件」を板書する。) T : 「早い」は何形ですか。 S : 辞書形です。 T : はい、そうです。(「早い」の下に「辞書」を板書する。) T : 動詞の時と同じ条件形、辞書形です。</p> <p>T : では、い形容詞の練習をします。聞いてください。 T : 給料は、安い方がいいですか。 S : いいえ、高い方がいいです。 T : 「～ば～ほど」を使って言ってください。 S : 給料は、高ければ高いほどいいです。 T : そうですね。では、みなさんと、「給料は・・・」 S : 給料は、高ければ高いほどいいです。</p> <p>T : もう1つ、聞いてください。 T : 家から駅まで、近い、遠い、どちらが便利ですか。 S : 近い方です。 T : 「～ば～ほど」を使って言いましょう。</p>	<p>全体でリピートさせる。</p> <p>動詞を使った例文の意味の説明を活用するようにさせる。 指名する。 年齢を加える。</p> <p>接続を確認する。</p>
--	--	--

5分	練習問題	<p>T : 「家から駅まで、・・・」 S : 近ければ近いほど、便利です。 T : そうですね。では、みなさん、「駅から家まで・・・」 S : 近ければ近いほど、便利です。</p> <p>T : 次は名詞です。 T : (下記のセンテンスカードを黒板に貼る。)</p> <div data-bbox="459 443 1185 544" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : <small>ゆうめい</small> 有名人であれば有名人であるほどストレスも多いだろう。</p> </div> <p>T : (上記の文を読み上げる。) T : 分かりやすい文で書きます。 T : (最初の文「有名人はストレスも多いだろう。」だけ板書する。) T : 次はどうなるでしょう。 S : もっと有名人はストレスももっと多いだろう。 T : その次は。 S : もっともっと有名人はストレスももっともっと多いだろう。 T : (下記のように簡単に板書する。)</p> <div data-bbox="464 902 903 1055" style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>有名人はストレスも多いだろう。</p> <pre> graph TD A[有名人はストレスも多いだろう。] --- B[もっと] A --- C[もっと] B --- D[もっともっと] C --- E[もっともっと] </pre> </div> <p>T : (上記の文を読み上げて、「有名人であれば有名人であるほどストレスも多いだろう。」と同じ意味であることを伝える。) T : 有名人は名詞です。名詞は、「であれば」「であるほど」になります。</p> <p>T : 名詞の練習をします。聞いてください。 T : 都会と田舎はどちらが人が多いですか。 S : 都会です。 T : そうですね。では、「～ば～ほど」を使って言いましょう。 T : 「都会であれ・・・」 S : 「都会であれば都会であるほど、人が多い。」</p> <p>T : はい、では、静かな部屋とうるさい部屋ではどちらが落ち着きますか。 S : 静かな部屋です。 T : そうですね。では、「～ば～ほど」を使って言いましょう。 T : 「静かな部屋であれ・・・」 S : 「静かな部屋であれば静かな部屋であるほど、落ち着きます。」 T : はい。いいですね。</p> <p>T : (時間が余れば別紙の自作の練習問題をさせて答え合わせをする。)</p> <p>T : 今日の勉強で質問はありますか。 S : ありません。</p>	<p>指名する。</p> <p>全体でリピートさせる。</p> <p>考えにくいと予想されるので最初の文を板書し、全体で考えさせる。</p> <p>接続を確認する。</p> <p>全員で考えさせる。</p> <p>全員で考えさせる。</p>
----	------	---	--

